

## 部活動における新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	課程／学部	校長名
東京都立東村山高等学校	全日制課程	川瀬 徹

### 1 学校の基本方針

感染症対策を講じ、生徒の安全を最優先にした上で、部活動を実施する。ただし、身体接触等を伴う練習及び練習試合等については控える。都内及び都外における大会、演奏会への参加や、練習試合等は、実施しない。ただし、全国大会や関東大会、当該大会につながる都大会、都高文連等が主催する大会への出場は可とし、大会等参加に伴う都内での練習試合等は可とする。大会等出場や、定期演奏会等を実施する場合は、保護者に対し通知した上で、生徒・保護者の参加同意書を得る。大会14日前から生徒の健康観察を徹底し、「部活動大会等出場一覧及び感染対策確認票」及び「部活動大会等参加同意書兼健康観察票」等を作成・管理する。

### 2 活動場所における感染症対策

体育館はドア・窓を2方向に常時開放するなど室内での活動については、必ず常時換気を行う。生徒を小グループに分けたり適切な距離をとって練習したりするなど、密集状態とならないよう工夫する。平日2時間、休日等3時間の短時間での活動とし、必ず休息日を設ける。マスクを外す場面で円陣を組む等の発声をしない、プレーとプレー間で生徒同士話し合う場合はマスクを正しく着用する、休日等に練習を行う場合は昼食時間を避けることなどを徹底し、各競技専門部等が示しているガイドライン等に基づき、感染症対策を講じる。

### 3 活動前後の感染症対策

部活動を行う前には、顧問等による健康観察を徹底し、生徒に自らの体調管理を確実に実施するよう指導する。（少しでも具合の悪い生徒は登校させない）部活動の前後における手洗いを必ず行う。手洗いができない場合は、アルコールによる手指消毒を行う。用具は使用前後に消毒するとともに、ボールを扱う競技を実施する場合には、触球後には適宜アルコールによる手指消毒を行う。

部活動実施前後の更衣において、部室や更衣室などの換気を十分に行うとともに、1回の使用人数を制限し、三密を回避する。部活動終了後は会食等をせずに速やかに帰宅する。

### 4 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

感染症対策に関する掲示物を活用し、注意喚起・指導する。部長会議等を通じて、生徒自らが行動変容（自身の健康観察の徹底や少しでも具合の悪い場合は活動を控えるなど）を考えたり、感染症対策を正しく実行することなど指導の工夫をする。